【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

伊万里市立波多津小学校 学校名

達成度 (評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

前年度 評価結果の概要 ・全体的な評価結果として、全ての項目でAまたはBの評価となり、一定の成果が上げられたと考える。

・いじめ問題への対応では、アンケート調査や個人面談、職員連絡会での情報共有などにより早期発見、早期対応に努めることができた。また、集会活動や「すてきカード」の取組、対話活動の充実などを通して、命の尊さや思いやりの心、友達の良さを認めようとする心を育むことができた。

・地域の「人・もの・こと」を生かした学習活動の充実を図った。コミュニティセンターや地域団体との連携を積極的に行い、地域素材の発掘や地域人材の活用が昨年度以上に活発にできた。また、「はたらく人プロジェクト」の実施により、児童は「働くこと」の意味や意義に気付くとともに、地元のもつ魅力も感じ取って いた。また、県内や地域に暮らす人々とのつながりにも気付くことができた。

2 学校教育目標

は:励んで光る た:愉しんで光る つ:つながって光る

本年度の重点目標

① 思考力、判断力、表現力の育成を目指した授業の創造を図る。

自他の生命や人権を尊重する心、自尊感情・自己有用感の育成を図る。

		② 日間の工事で入権でも主する心、日母感情・日 日 有用態の自成で図る。									
4 重点取組内容・成果指標						中間評価 5 最終評価					
(1)共通評価項目											主な担当者
	重点取組			具体的取組	\#40 e>	中間評価 最終評価		最終評価	学校関係者評価		土な担当有
	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	●学力の向上	○確かな学力の定着	○既習内容を基に考えた自分の考えを発表し、 友達の発言に反応する児童80%以上 下学年:比べながら間/児童 上学年:相手の意図を考えながら聞く児童 ○学校評価アンケートで「学校の勉強はよくわか る」と回答した児童85%以上	動において、条件作文や学音用語を使ってまどめ たり振り返りを書いたりする活動に取り組む。		•					研究主任 学力向上コーディネーター
	●心の教育	心、他者への思いやりや社会性、倫理 観や正義感、感動する心など、豊かな心 を身に付ける教育活動		・集会活動(平和集会、人権集会等)、人権週間の取組や、教材の活用等による道徳等の活動での授業実践を通して、自他ともに大切にしようとする心を育む。	•	•		•		•	人権·同和教育担当
		●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○保護者アンケートの「いじめに対する 学校の取組」の評価を90%以上	- こころのアンケート(回/月)やローU(回/年)を実施するとともに、個別の面談を定期的に行うとで、いじめ等の早期発見、早期対応に努める。 等の早期発見、早期対応に努める。 ・教育相談週間(2回/年)を新設し、実施することで、一人ひとりと話をする機会を設ける。 ・職員連絡会で気にしたい子の報告をして共通理解を 図って対応する。		•				•	•教育相談担当 •生活部主任
		●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。		・職員も「すてきカード」を活用し、児童の良さや頑張り を積極的に見つけ紹介する。 ・行事ごとに振り返りシートを活用し、自尊感情や自己 有用感を高めていく。 ・将来に向けての目標を持つために地域との交流活動 が社会利見学をしたり、企業などから講師を招削した り、将来の夢や目標について考えたりする場を設定する。		•				•	·教務主任 ·文化·特活部主任
_	●健康・体つくり	●望ましい生活習慣の形成	〇平日に毎日朝食を摂取する児童85%以上。 以上。 〇早寝早起きについて、自分で立てた 目標を達成できた児童85%以上(3回/ 年程度)。	・生活習慣に関する呼びかけや取り組みを委員会活動で行い、児童自ら健康について考える機会を設ける。・給食試食会や栄養教諭との授業などを通して食の大切さについて情報を発信する。・教育講演会や保健だより(1回/月程度)、健康教育の授業などを通して、保護者を巻き込んだ取り組みを行う。						•	·食育推進担当 ·保体部主任
		○ □ 	○体を動かす遊びをしたり、一輪車の練	・アンケート等を実施することで、早寝早起きについて児童と保護者で自己目標を立てさせ、定期的に振り返りを行う。							
		の日保をもって体力 Jへがに取り組む 教育活動。	○ 「一幅単の様でを到がり並んをしたり、一幅単の様でをしまりするなど、進んで運動ができる児童90%以上 ○ スポーツチャレンジ3種目(ドッジボールラリー、8の字とび、みんなで輪くぐり) のうち、1種目以上に全学年参加する。	動かす遊びを企画し、運動への意欲を高める。 ・一輪車カードや障害物など、活用し屋体みや授業で楽しく活動ができるようにする。 ・健康委員会によるスポーツレクリエーションを全校で行い、運動の機会をつくる。(学期1回)・							•保体部主任
	●業務改善・教職員の働き 方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校 等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1 人当たりの年次休暇の取得日数14日 以上	用し、積極的に運動に関われるようにする。 ・勤務時間の管理を行い、超過勤務時間が多い職員については、個別に指導や支援を行う。 ・定時退却日の徹底、行事や会議の精選、効率化・時間 短線を進める。 ・ICTを活用し、業務の効率化を図る。 ・ICTを活用し、業務の効率化を図る・連素勤務なずために、業務内容・業務時間を振り返る 増を設け、1週間の見通しを持った業務ができるようにす		•					管理職
		○特別支援教育に関する教員の専門性 と意識の向上	〇特別支援教育に関する専門性が向上 したと回答した教員90%以上	- 発達障害児の理解と具体的・実践的な支援について、講師を招聘しての夏奉研修会を実施する。 ・支援を要する児童の共通理解を図る。 ・職員の専門性を高めるために、支援ソフトについて研 修や通信で密発することで、利用率90%以上を目指 オ		•		•		•	特別支援コーディネーター
(2)	本年度重点的に取り組む独			山田記[本 里安] 中国							
	評価項目	重点取組内容	成果指標	具体的取組	進捗度	中間評価	達成度	最終評価	= 1 /±	学校関係者評価	主な担当者
	○地域とともにある学校	■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	わせた地域人材活用 〇地域のよさを知り、地域に誇りや愛着		(評価)	進捗状況と見通し	(評価)	実施結果・	評価	意見や提言・	教務主任 総合的な学習の時間主任
	●…信サ海 ○…学坛社	自 ②・・・志と誇りを高める教育	があると感じる児童90%以上	関連する団体と連携し、「はたらく人プロジェクト」等の活動を通して素材を生かした学習にスムーズに取り組むことのできる環境を整える。							mu u n n co 구 입 V m l 비 工 다

●・・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望